

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー :ワークで学ぶカウンセリング ILAS Seminar :Basic counselling skills workshop	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Education Associate Professor, UMEMURA KOTARO		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Hours</b>	30
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・ Intensive, First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	12 (12)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Intensive August 6 - 8
<b>Classroom</b>	Practical training room 2, Research Bldg. No 1 (Main Campus)			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	カウンセリング / 臨床心理学 / 体験型ワーク				
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>本授業は、カウンセリング技法や、自身の心の動きに焦点をあてる各種ワークを体験することを通じて、心理療法やカウンセリングについて理解を深めることを目標とする。合わせて、カウンセリング・心理療法において基礎となる、自分の心のあり方や自と他の関係について気づきを深めることを目指す。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンセリングや心理療法とはどういう営みかについて、その基礎を理解する。</li> <li>2. カウンセラーの態度やカウンセリングの技法の基礎について理解する。</li> <li>3. 普段は無自覚であることが多い心の動きに意識を向け、自分や心についての気づきを深める。</li> <li>4. カウンセリングだけでなく、日常的な対人コミュニケーションにおいて生じる心の動きについて深く考えることができるようになる。</li> </ol>					
<b>[Course schedule and contents]</b>					
<p>3日間の集中講義形式で実施する。 一部講義も実施するが、ペアやグループでの体験型ワークを中心に授業を進める。 各単元は、ワークの体験、他の受講生との体験についての共有、体験の振り返り小レポートの作成を基本的なセットとして行う。 各単元の内容については、予備知識なくまっさらな状態で体験を行ってもらうことが重要なため、抽象的な掲示にとどめる。 フィードバックについては各単元ごとに随時行う。 なお、受講生の理解や授業の進捗によって、適宜実施順序を入れ替えたり、ワークの内容を変更したりする可能性がある。</p> <p>8月6日(火)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 臨床心理学講義</li> <li>3. きく1</li> <li>4. きく2</li> <li>5. きく3</li> </ol>					
Continue to ILASセミナー :ワークで学ぶカウンセリング(2)					

ILASセミナー :ワークで学ぶカウンセリング(2)

8月7日(水)

6. 伝える1
7. 伝える2
8. 描く1
9. 描く2
10. 描く3

8月8日(木)

11. みる・みられる
12. 演じる1
13. 演じる2
14. 演じる3
15. まとめと振り返り

**[Course requirements]**

ペアやグループでの体験型ワークを中心に進めるという授業の性質上、全日程・全単元に参加できる者のみ履修を認める。同様の理由で、原則的に遅刻・早退は認めない。

**[Evaluation methods and policy]**

平常点評価100点(授業への参加状況,小レポート)  
ワークごとに振り返りの小レポートを課す。  
全ての単元に参加し,全ての小レポートを提出していることを成績評価の必須要件とする。

**[Textbooks]**

Not used

**[References, etc.]**

(References, etc.)

東山紘久 『プロカウンセラーの聞く技術』(創元社,2000年)ISBN:4422112570  
杉原保史 『プロカウンセラーの共感の技術』(創元社,2015年)ISBN:4422115804  
河合隼雄 『河合隼雄のカウンセリング入門:実技指導をとおして』(創元社,1998年)ISBN:  
4422111965

**[Study outside of class (preparation and review)]**

予習

各ワークの内容については,予断なくまっさらな状態で体験してもらうことが重要であるため,特別な予習は必要がない。しかし,授業開始に先だって,カウンセリング,あるいは臨床心理学について少し触れておくことは有用かもしれない。カウンセリングについて平易に読めるものとして,参考図書に挙げたものをお勧めする。

復習

各ワークの体験中に自らの心的体験に自覚的であると共に,事後に自らの心的体験について十分に振り返ることが重要である。授業課題として振り返りの小レポートに取り組むことを,その機会としてほしい。授業の内容や体験を通じて生じた疑問や興味にしたがって,自発的に臨床心理学その他の関連文献にあたることを推奨する。

**[Other information (office hours, etc.)]**

・自身の心的体験に対して目を向け,深く考えようとする態度と共に,他者の体験を尊重する態度

Continue to ILASセミナー :ワークで学ぶカウンセリング(3)

ILASセミナー :ワークで学ぶカウンセリング(3)

---

が求められる。

- ・コミュニケーションの得手不得手は問わないが、授業でのディスカッションや他の受講生とのやりとりに積極的に参加しようとする態度を求める。
- ・授業についての事前連絡はPandAのお知らせを用いて行うので、必ず確認すること。
- ・ペアやグループでのワークを実施する都合上、12名以下かつ偶数になるよう受講者数を制限する。